ALEXON
http://www.alexon.co.jp/


株式会社 アレクソン
〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島4-3-24 新大阪木村第3ビル

お問い合わせ先　サポートセンター　東京　☎03-5645-8571
大阪　☎06-307-3237
受付時間：月曜〜金曜　10:00〜12:00・13:00〜16:30
（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）





TIM2000C

ALEXON

iSDN
TERMINAL ADAPTER

# 取扱説明書

ISDN ターミナルアダプタ

TD503α／T503α

設置編




Users Manual

# はじめに

このたびは、TD503αまたはT503αをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
TD503α・T503α（以下、共通の記述に関しては「503 α」とします。）は、NTT「INSネット64」とパソコンやモデム及び電話機やFAX等を接続するためのターミナルアダプタ（TA）です。

TD500シリーズはDSU内蔵、T500シリーズはDSU非内蔵です。
両シリーズは設置時の接続方法が異なるだけで、機器の操作方法は同一です。

503 αにて快適な通信環境を実現するために、ご使用前に取扱説明書をご精読くださいますようお願いいたします。
503 αには、以下の３冊の取扱説明書が添付されています。

## Ⅰ．設置編（本書）

503 αを使用するための基本的な準備や手続き、サポートに関する取扱説明書です。

## Ⅱ．電話編

503 αの多彩な電話（TELポート）機能に関する取扱説明書です。

## Ⅲ．デジタル通信編

503 αを使用したデジタル通信（DATAポート）機能に関する取扱説明書です。
インターネットの接続方法から各種コマンドの説明を記載しています。

503 αを安全にお使いいただくために、「Ⅰ．設置編」に記載されている「安全上のご注意」は必ずお守りください。お読みになった後は大切に保存し、必要なときにお読みください。

**輸出する際の注意事項**

**注意　本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内向けの製品です。海外の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承ください。**
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

**ご注意**

**（１）本書及び本製品の内容の一部又は全部を無断で複写、複製することを禁じます。**
**（２）本書及び本製品の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。**
**（３）本書及び本製品は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡ください。**
**（４）本製品（ハードウェア、ソフトウェア及び関連文書）を運用した結果については、（３）項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
**（５）本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**

# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害､財産への損害を未然に防ぐため､必ずお守りいただくことを説明しています｡本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、正しくご使用ください。

**■絵表示の説明**

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し､説明しています。

- **⚠危険：** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される場合。
- **⚠警告：** 取扱いを誤った場合､使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合か､軽傷または､物的損害※が発生する頻度が高い場合。
- **⚠注意：** 取扱いを誤った場合､使用者が重傷を負う可能性は少ないが､傷害を負う危険性が想定される場合､ならびに物的損害※のみの発生が想定される場合。※物的損害とは、家屋家財及び家畜ペットに関わる拡大損害を示しています。

**■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。**

△マークは、危険、警告を含む「注意」を示しています。
左図の例は、「特定しない一般的な注意、警告、危険の通告」を示しています。

⃠マークは、してはいけない「禁止」を示しています。
左図の例は、「分解禁止」を示しています。

●マークは、必ず実行していただく「強制」や「指示」を示しています。左図の例は、「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

## ⚠危険

**●ニカド電池を使用・交換するときの注意**
ニカド電池は、正しくお使い下さい。使い方を間違えると液漏れや破裂することがあります。次の点に注意して下さい。
- 充電は、本装置以外で行わないで下さい。
- コネクタの向きが決められているので、本装置に接続するときは向きを確認して正しい向きで接続して下さい。
- 専用のニカド電池をご使用下さい。また専用のニカド電池を別の装置でご使用にならないで下さい。
- ニカド電池の分解、改造、加熱、火中に投入を行わないで下さい。
- ニカド電池を金属製品と一緒に保管・運搬しないで下さい。

**●ニカド電池の液が目に入ったとき**
失明のおそれがありますので、目をこすらずに、すぐにきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けて下さい。

## ⚠警告

**●万一異常が発生したら、すぐに電源スイッチをOFFにして電源プラグを抜く！**
煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないで下さい。
火災や感電の原因となります。このようなときには、すぐに電源スイッチをOFFにして電源プラグを抜き、お買い上げの販売店や弊社にお問い合わせ下さい。

**●AC 100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない**
定格以外の電源電圧で使用しますと火災や故障の原因となります。

**●異物を入れない**
本装置側面の通気孔に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
万一異物が入った場合、すぐに電源スイッチをOFFにして、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。

**●分解したり改造したりしない**
本体カバーをはずして内部を触ったり、本装置を改造しないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
修理の際は、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。



## ⚠警告

**●本装置の近くに水や飲料などの液体、ヘアースプレーなどの可燃物の入っている容器を置かない**
内部に液体や可燃性の強い気体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

**●水・薬品がかからないように**
引火・火災や感電の恐れがあります。

**●電源コードを大切に**
コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。
コードが損傷します。コードに傷がつくと火災や感電、故障の原因となります。
また、コードを加工したり、無理に曲げたり引っ張ったりすると、火災や感電の原因となります。コードが痛んだ場合には、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。

**●本装置を落としたり破損した場合は**
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源スイッチをOFFにして、背面のコネクタをすべて抜いておいて、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。

**●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない**
本装置は一般オフィスや家庭のOA 機器と接続する用途の製品として設計されています。
幹線通信機器や業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器には、接続しないで下さい。

## ⚠注意

**●本装置は日本国内のみで使用**
国外での使用は、電源電圧等の問題により、本装置が故障することがあります。

**●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**
電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いて下さい。電源コードを引張って抜くと電源コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

**●ぬれた手で電源プラグに触らない**
ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないで下さい。感電や火災、故障の原因となることがあります。

**●通風孔をふさがない**
本装置は内部の温度上昇を防ぐために、本体ケースに通気孔があります。タオルなどをかけたりして、通気孔をふさがないで下さい。内部に熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。
また、本体両サイドの通気孔や背面のコネクタ類に、金属類、燃えやすいもの、水分などが入ると、本装置の故障の原因となるだけでなく、火災や感電の原因となります。
万一異物が入った場合は、直ちに電源スイッチをOFFにして、背面のコネクタを全て抜いて、販売店または弊社までご連絡下さい。
また、通気孔は絶対にふさがないで下さい。

**●踏み台にしない**
本装置の上に乗らないで下さい。倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。
特にお子様のおられる家庭では注意をお願いします。
また、本装置の上に重いものを載せないで下さい。故障の原因となることがあります。

## ⚠注意

**●風通しの悪いところに置かない**
本装置をラック内など、密閉された場所に置かないで下さい。また、本装置を積み重ねて使用するなど、本装置の上にものを置いて使用しないで下さい。
熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。

**●温度が高くなるところに置かない**
直射日光の当たるところや発熱する器具の近くなど高温になるところに置かないで下さい。熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

**●湿気やほこりの多いところに置かない**
湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くに置かないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。

**●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない**
ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害が発生する恐れがあります。

**●不安定な場所やお子様の手の届くところに置かない**
ぐらついた台や本装置より面積が小さいものの上や傾いた所、また衝撃や振動の加わる所など、不安定な場所やお子様の手の届くところに置かないで下さい。
落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

**●電源プラグとコンセントの定期点検を**
電源プラグとコンセントは長時間つないだままですと、ほこりや塵がたまります。
そのままの状態で使用を続けますと、火災や感電の原因となることがあります。
１年に１回は電源プラグとコンセントの定期的な掃除をし、接触不良などを点検してください。

**●逆さまに設置しない**
本装置を逆さまなど本装置の足を下にした以外で設置しないで下さい。
また、布等でくるんだ状態での使用もおやめ下さい。特にビニールやゴム製品が接触している状態での使用もおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

**●アース端子を接地する**
本装置は、落雷などの影響を最小限に押さえるための落雷対策を行っていますが、念のため本装置のFG端子を使って接地してください。

**●お手入れの時は**
本装置の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください（決して、プラグやコネクタ等の外部機器接続部をこの方法で拭かないでください）。
薬品類（ベンジン・シンナーなど）は使わないでください。変質・変色する場合があります。プラグやコネクタ等の外部接続部にほこりがたまった場合は、接続先からはずし、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず、電源スイッチをOFFにして、背面のコネクタをすべて抜いてから行ってください。

**●本装置を長期間使用しないときは**（電話やFAX、PCやISDN機器を接続してご使用しないとき）
本装置を長期間使用にならないときは、電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタを全て抜き、停電用の電池をはずして保管してください。

**●電池の取り扱い注意**
電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池をなめたり、誤って飲むことがないようにして下さい。電池は幼児の手の届かないところへ置いて下さい。





## ⚠注意

**●雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントを抜く**
落雷の恐れのあるときには、直ちに使用をやめ、本装置の電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜き、背面のコネクタをすべて抜いてから、TELポートから通信機器との接続ケーブルをはずしてください。また、本装置からISDN回線のISDNケーブルもはずしてください。落雷時に内部に電流が流れ込むと、本装置を破壊する恐れがあります。

**●データの保存について**
通信中に回線や本装置の障害が発生すると、データが消失しますので、データのバックアップを事前に行うなどの処置を行ってください。

**●電池を使用・交換するときの注意**
電池は正しくお使い下さい。使い方を間違えると液漏れや破裂することがあります。
次の点にご注意下さい。
・保証期間内の単３アルカリ乾電池をお使い下さい。
・電池をショートさせたり、分解したりしないで下さい。
・電池の＋－方向を確認して入れて下さい。
・電池の液漏れによる装置の故障については当社の保証対象外となります。
・新しい電池と古い電池は混用しないで下さい。
・使用済みの電池を火中に投げないで下さい。

**●接続ケーブルについて**
データ端末（パソコン）との接続の際には、付属のRS-232Cケーブルをご使用ください。
コネクタの形状が異なる場合は、市販の全ピン接続の変換コネクタをご使用ください。
ISDNとの接続には、付属のISDNケーブルをご使用ください。
（INSネット64以外の回線と接続する場合の動作は保証できません）

**●接続するアナログ回線機器に対するご注意**
・技術基準適合認定を取得している機器を接続してください。
・本装置には硬貨収納信号送出機能がありませんので、ピンク電話等は接続できません。
・１つのTELポートには１台のアナログ通信機器を接続してください。
同一のTELポートに複数台のアナログ通信機器を接続しますと、使用できないことがあります。
・ISDNの場合、電話回線の線路損失が低く、伝送損失がアナログ電話回線に比べて低く、電話機では音量が大きくなります。場合によってはキンキンと割れるような受話音となり、装置の設定を変更する必要があるケースもあります。
・ISDNの場合、線路損失が低く、端末機器での送信から受信への回り込み（エコー）が出やすい状態にあります。
本装置も送信・受信兼用の２線を送信受信別々の４線に分離する変換回路があるため、結果としてわずかながらも送信から受信への回り込み（エコー）が存在します。振幅変調信号を利用した画像電送装置等では、アナログ電話回線ではうまく利用できていたとしても、ゴースト等の現象として影響が生じることがあります。
特に写真電送装置等の映像、画像用の電送装置を接続する場合にご注意願います。
・着信時の呼び出し信号については、アナログのビジネスホンで利用されている単体電話機用アダプタと同じく、経済的な理由で方形波形式となっております。
したがって、16Hz交流信号（正弦波）しか着信検出しない装置では、自動応答等の機能が動作しない場合があります。
留守番電話機・FAX等の自動応答機能を使っているものはご注意願います。
・電話機自体がフッキングを使用して特別な機能を持っている場合（親機と子機間の操作等）、取扱説明書「電話編」に記載しているフッキングを利用した機能がご使用になれません（または、電話機と本装置両方の機能が動作してしまいます）ので「電話編３－６－10．フッキングの設定」を参考にフッキングを無効にして下さい。
・フレックスホン（本装置独自の類似機能も含む）や通話中ポート切替を使用すると、電話機の料金表示機能は正常に動作しないことがあります。

# 目次

# 1．主な特長













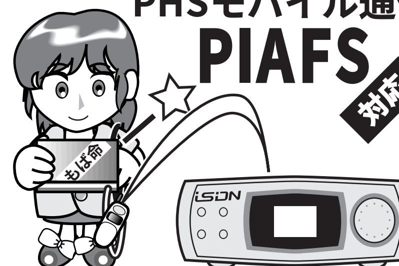
FAXモデムがなくても、
503αだけで
FAXの送受信ができる
G3FAXソフト

**RVS-COM**
*for Windows®*
対応

国内販売：メガソフト株式会社














ISDN用高速FAX（G4）と
FAXの送受信ができる
G４FAXソフト

**まるち急便**
*for Windows®*
対応

NTT中国メディアサプライ株式会社
TEL0852-31-7104
FAX0852-31-7094



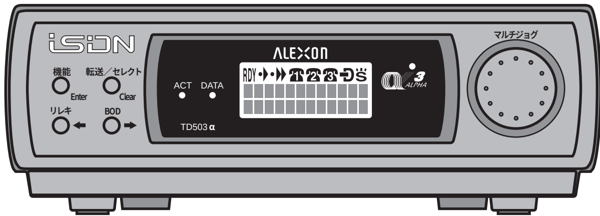
# 2．製品の構成

ご購入いただいた製品には次のものが含まれています。ご確認ください。足りないものがあるときには、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。
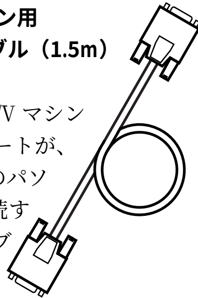


## TD503 αの梱包内容

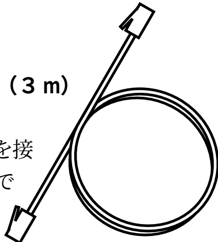
**□ターミナルアダプタ**
**TD503α本体　　　　　　１台**



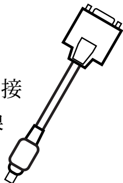

**□ Windows® マシン用**
**RS-232C ケーブル（1.5m）**
**１本**
503 αとDOS/V マシン（PS-232C ポートが、D-SUB９pinのパソコン）を接続する通信ケーブルです。



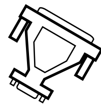
**□ ISDN 回線ケーブル（３ m）**
**１本**
TD503αとISDN網を接続するケーブルです。



**□ MacOS マシン用**
**RS-232C 変換コネクタ**※１
**１個**
503 αとMacOS マシンを接続するときに利用する変換コネクタです。



**□９ pin-25pin**
**RS-232C 変換コネクタ**※１
**１個**
25pinの通信コネクタを持つ機器で503αを使用するときに利用します。



**その他**
**□ CD-ROM　　　　　　１枚**
ハイブリッド版。
主な収録内容は次の通りです。
［Windows 用］
・Windows 用モデム定義ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ
・テレホンアシスト
［MacOS 用］
・MacOS 用 CCL ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ
**□壁掛け用取り付けネジ　　２個１組**
**□取扱説明書　　３冊**
**（設置編［本書］・電話編・デジタル通信編）**
**□保証書 / ご愛用者カード　　１部**
**□α -ALPHA ３ご利用申込書　　１部**

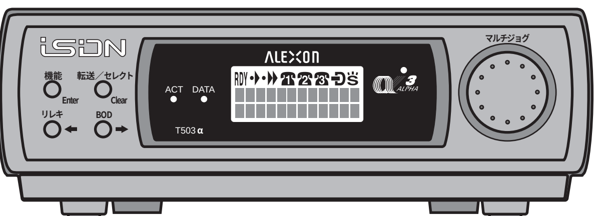
※１　MacOS 用変換コネクタ、9pin-25pinRS-232C 変換コネクタは、Windows マシン用 RS-232C ケーブルと組み合わせてお使いください。また、ノートパソコン等で特殊な形状の RS-232C 端子の場合、お客様の方で変換コネクタをご用意ください。



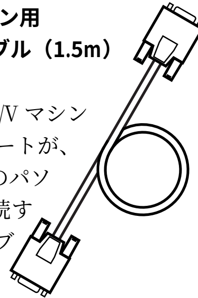


## T503 αの梱包内容

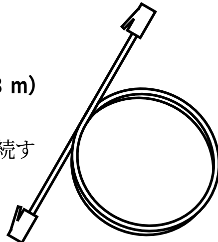
**□ターミナルアダプタ**
**T503α本体　　　　　　１台**



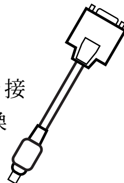

**□ Windows® マシン用**
**RS-232C ケーブル（1.5m）**
**１本**
503 αとDOS/V マシン（PS-232C ポートが、D-SUB９pinのパソコン）を接続する通信ケーブルです。



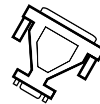
**□ S バスケーブル（３ m）**
**１本**
T503αとDSU を接続するケーブルです。



**□ MacOS マシン用**
**RS-232C 変換コネクタ**※１
**１個**
503 αとMacOS マシンを接続するときに利用する変換コネクタです。



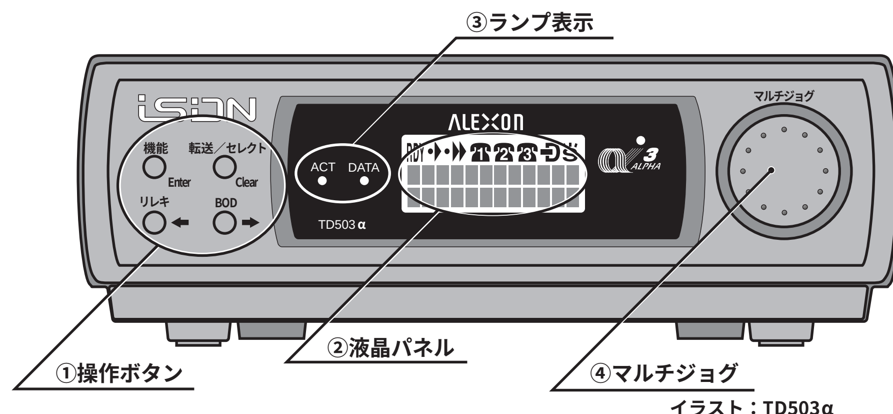
**□９ pin-25pin**
**RS-232C 変換コネクタ**※１
**１個**
25pinの通信コネクタを持つ機器で503αを使用するときに利用します。



**その他**
**□ CD-ROM　　　　　　１枚**
ハイブリッド版。
主な収録内容は次の通りです。
［Windows 用］
・Windows 用モデム定義ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ
・テレホンアシスト
［MacOS 用］
・MacOS 用 CCL ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ
**□壁掛け用取り付けネジ　　２個１組**
**□取扱説明書　　３冊**
**（設置編［本書］・電話編・デジタル通信編）**
**□保証書 / ご愛用者カード　　１部**
**□α -ALPHA ３ご利用申込書　　１部**

※１　MacOS 用変換コネクタ、9pin-25pinRS-232C 変換コネクタは、Windows マシン用 RS-232C ケーブルと組み合わせてお使いください。また、ノートパソコン等で特殊な形状の RS-232C 端子の場合、お客様の方で変換コネクタをご用意ください。

# 3．各部の名称とはたらき
## 3－1 .前から見たところ



イラスト：TD503α



## ①操作ボタン

### 1）機能（Enter）ボタン
TEL ポート環境設定や設定をロックさせるときに使います。

### 2）転送 / セレクト（Clear）ボタン
識別着信モードや電話転送モードに変更するときに使います。

### 3）リレキ（⬅）ボタン
電話利用記録や TEL ポート環境設定時に前画面に戻るときに使います。

### 4）BOD（➡）ボタン
DATA 通信中にボタンを押すことで、接続状態を変更できます。

## ②液晶パネル
回線や接続している通信機器の使用状況などを絵文字やメッセージで表示します。

ワンポイント

**液晶パネルは、バックライト付きです。**
**バックライトは、マルチジョグから ON/OFF/AUTO の設定が出来ます。**
**各設定の動作は、次の通りです。**

| | |
|---|---|
| OFF | 常時バックライト消灯 |
| ON | 常時バックライト点灯 |
| AUTO | 発着信・通信（通話）中に点灯、通信（通話）終了後約 30 秒後に消灯 |

**※“ON”、“AUTO”の設定でも、停電動作中は OFF の状態（常時消灯）となります。**



## ③ランプ表示
ISDN 回線の状況やα -ALPHA ３の稼働状態などを表示します。

### 1）ACT ランプ
回線の状態を表示します。

点　　灯： 電源が入っている状態。ISDN 回線正常。
点　　滅： 電源が入っている状態。ISDN 回線異常。
消　　灯： 電源が入っていない状態。

### 2）DATA ランプ
点　　灯： DATA 通信にて送受信中。

### 3）α -ALPHA ３ランプ
赤色点灯： 接続の回線番号をα -ALPHA ３用に設定していない状態。
緑色点灯： α -ALPHA ３アイドル中。α -ALPHA ３関連設定が全てオフでも点灯します。
点　　滅： α -ALPHA ３で回線提供業者（NTT を含む）を選択後、発信時に５秒間早い点滅をします。



## ④マルチジョグ
次にような機能があります。

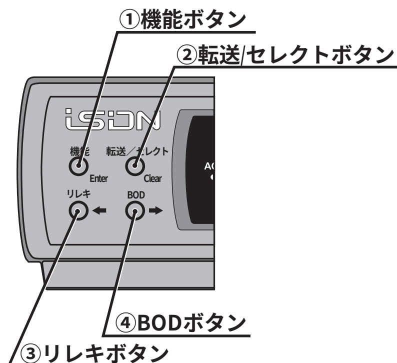
### 1）電話帳表示
時計回りに回すと短縮番号 #20 から、逆時計回りに回すと短縮番号 #59 から電話帳を表示します。

### 2）電話利用記録表示
リレキボタンと併用することにより過去の電話利用記録を見ることができます。

### 3）TEL ポート環境設定時の項目選択
機能（Enter）ボタンにて、TEL ポートの環境設定を行うとき、マルチジョグ操作で設定項目の選択ができます。

**1）電話帳表示や 2）電話利用記録表示で、相手名もしくは電話番号を表示しているときに受話器を上げると表示している電話番号に自動で電話をかけます。**
**初期値は、発信しない設定ですので、上記機能を使われる場合は、各ポート毎に許可してください。**

# ３－１－１．操作ボタンのはたらき




## ①機能（Enter）ボタン

**ａ.マルチジョグによるTELポート環境設定**

503 αアイドル中にボタンを押すことでTELポートの環境設定モードになります。
約30秒間触らないでいると通常モードに戻ります。また、環境設定モード中にマルチジョグにて設定項目を選択してボタンを押すことで、その設定項目の画面に変わります。

**ｂ．キーロック**

３秒以上押し続けると、ロックがかかり、操作ボタン・電話・ユーティリティソフトからの設定を受け付けないようになります。

## ②転送/セレクト（Clear）ボタン

２回押すと識別着信モード（１＊31）に変更します。
１秒以上押すと着信転送（電話転送）モードに変更します。
それぞれ同じ動作を再度すると各モードを解除します。

## ③リレキ（⬅）ボタン

**ａ．マルチジョグ操作で過去の電話利用の記録を見ることができます。**

**着信履歴表示**

ボタンを押した後、時計回りのマルチジョグ操作で、かかってきた電話の相手名※2と電話番号※3を新しいものより表示します。

**発信履歴表示**

ボタンを押した後、逆時計回りのマルチジョグ操作で、かけた電話の相手名※4と電話番号を新しいものより表示します。

**ｂ．TELポート環境設定モード中にボタンを押すと前画面面に戻ります。**

環境設定の一番最初の画面（TELポート指定）の時にボタンを押すと通常モードに戻ります。

**Ｃ．設定初期化**

ボタンを押しながら、電源を入れると全設定が初期化されます。
液晶パネルが時刻表示になるまでボタンを押し続け、電源を切らないようにして下さい。

## ④BOD（➡）ボタン

DATA通信中に押すことで、通信状態を次のように変更します。

**ａ．１回押す※5**

64kbps（１Ｂ利用）に変更します。

**ｂ．２回押す※5**

128kbps（２Ｂ利用）に変更します。

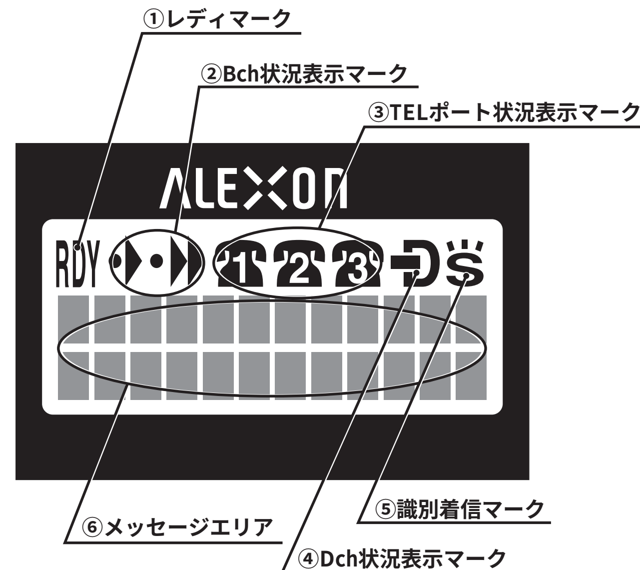
**ｃ．１秒以上押す**

回線切断します。

**※２　電話帳に相手の電話番号と名前を登録しており、相手が発信者番号通知を利用している場合。**
**※３　相手が発信者番号通知を利用している場合。**
**発信者番号通知を利用していない場合には「バンゴウナシ」と表示します。**
**※４　電話帳に相手の電話番号・名前を登録している場合。**
**※５　MP動作中のみ有効。ただし、２B/１B移行中は無効。**




# ３－１－２．液晶パネルのはたらき




## ①レディマーク　RDY

パソコンのER信号がONの時に表示します。
パソコンのER信号は通信ソフトを起動したときなどにONになります。

## ②Bch状況表示マーク

DATA通信によるBchの使用状況をあらわします。
64K通信時に•▶が表示され、バルク（128Kbps）通信時に•▶▶が表示されます。

## ③TELポート状況表示マーク

接続の電話機（FAX/モデム）の使用状況をあらわします。

表　示：　着信転送モード中。
点　滅：　接続の電話機（FAX/モデム）使用中。
未表示：　接続の電話機（FAX/モデム）未使用。

## ④Dch状況表示マーク

Dchパケット使用中に表示します。

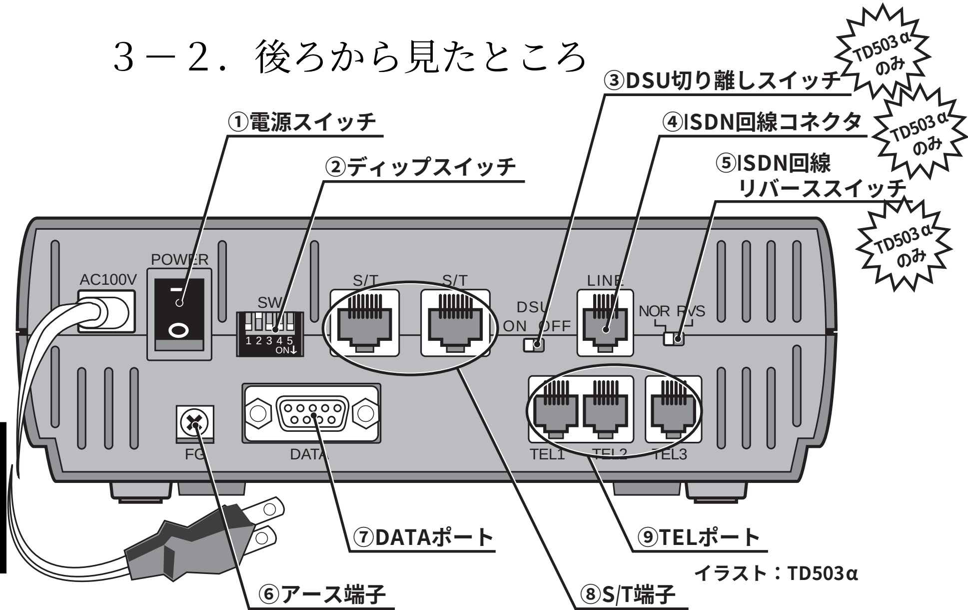
## ⑤識別着信マーク

識別着信モード中に表示します。

## ⑥メッセージエリア

発信者番号通知・電話帳・設定内容等各種内容を表示します。

# ３－２．後ろから見たところ




## ①電源スイッチ

電源ON/OFF を行うためのスイッチです。
「ー」が電源ON で、「○」が電源OFF です。
電源が入りISDN 回線が正常ならば、正面のACT ランプが点灯します。

## ②ディップスイッチ（参照：７－２．ディップスイッチ P46）

停電モードや終端抵抗の設定をするときに使用します。

**初期値 ➡ 初**

| SW | 内容 | ON | OFF |
|---|---|---|---|
| 1 | 停電モード | 停電時に乾電池により動作 初 | 停電時には動作せず |
| 2 | 未使用 | 常にオフ 初 | |
| 3 | 電流モード | 通常モード 初 | 省電流モード |
| 4 | 終端抵抗 | 終端抵抗あり 初 | 終端抵抗なし |
| 5 | | | |

## ③DSU切り離しスイッチ［TD503αのみ］

TD503 αをDSU 機能のないTA として扱うときに利用します。
スイッチがOFF の場合には、ISDN 回線コネクタは使用しません。





## ④ISDN回線コネクタ［TD503 αのみ］

TD503 αに付属のISDN 回線ケーブルを使ってISDN 回線と接続するためのコネクタです。

## ⑤ISDN回線リバーススイッチ［TD503 αのみ］

ISDN 回線の極性が反転しているときに正常にするためのスイッチです。

## ⑥アース端子

アース線を接続するための端子です。アース線は付属しておりませんので、ご用意して接続してください。

## ⑦DATAポート

デジタル通信用のコネクタです。付属のRS-232Cケーブルでパソコンなどと接続します。

## ⑧S/T端子

他のISDN 機器との接続に利用します。
給電を行っているので、S/T 点の給電を監視している通信機器も接続可能です。
※給電は、TD503 αのみです。

## ⑨TELポート

電話機、FAX やモデムなど加入電話回線用の通信機器を接続するためのコネクタです。

## アースとの接続について

アースは、落雷などの事故が起こった場合に人身への障害や装置の損傷を防止するためのものです。アース端子に接続するアース線は、あらかじめご用意の上、壁やコンセントのアース端子に接続してください。

# ４．ISDN（INS ネット 64）の加入手続き

503 α をご利用いただくためには、お客様の方で NTT の INS ネット 64 のお申込みが必要です。お申込みの際には、NTT の"INS ネット 64 お申込票"に次のようにご記入、または該当する箇所の□を塗りつぶしてください。

**"INS ネット 64 お申込票"には［基本機能版］と［高機能版］の二種類があり、本書では［基本機能版］を元に用紙記入のポイントのみを記載しています。**

## ４－１．「INS ネット 64 お申込票」への記入方法

### 1 接続する通信機器

**a．通信機器の名称**

TD503αの場合（DSU 内蔵）

１行目に機種名をご記入ください。

同じ行にある DSU 折り返し機能の有無は、□有を選択してください。

T503αの場合（DSU 非内蔵）

２行目以降に機種名をご記入ください。

**b．メーカ名**

□他社にチェックしてください。

様式D ［基本機能版］ 「INSネット64」お申込票 （NTT控え）

（　　）　－　｜利用種別 □事務用 □住宅用｜工事予定日 平成　年　月　日 □午前 □午後 □工事派遣有 □無派遣｜ご本人性の確認 運転免許証 パスポート 保険証 その他

ページ番号／総枚数　／　｜CUSTOM－SO番号｜申込票メイン－サブ番号　－

〈太枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する個所の□内を塗りつぶしてください〉

①お申込年月日 平成　年　月　日 ②お申込者 お申込者本人・その他（　様）
③ご利用開始希望日 平成　年　月　日 □午前・□午後 ④お申込回線数　回線
⑤お申込者（フリガナ）　様
⑥お申込者ご住所 〒
⑦INSネットをご利用になる場所（肩書等詳細にご記入下さい）〒 ●肩書等 ビル・マンション　階　号室　様
●上記の場所で現在ご利用中の電話 □有 □無（　－　－　）
⑥お客さまのご連絡先 事務担当者　様 ☎（　）－（勤務先・その他（　））｜技術担当者　様 ☎（　）－（勤務先・その他（　））｜工事立会者　様 ☎（　）－（勤務先・その他（　））

⑨毎月の請求書（基本料・通信料）の送付先 □⑦と同じ □⑥と同じ □その他（送付先を下記へご記入ください）〒 ビル・マンション　階　号室　様
⑩契約料 施設設置負担金のお支払い方法 □⑨とあわせて送付希望（他のサービスを解約して利用する場合。契約料のみ対象）〈定期〉 □窓口即納 □口座振替 □請求書送付希望（送付先を下記へご記入ください）〈随時〉 〒 ビル・マンション　階　号室　様
⑪工事料金のお支払い方法 □⑨とあわせて送付希望〈定期〉 □⑨とは別に送付希望（送付先を下記へご記入ください）〈随時〉 〒 ビル・マンション　階　号室　様
⑫通信機器代金のお支払い方法（コネクタ代金を含む） □⑨とあわせて送付希望〈定期〉 □⑪とあわせて送付希望 □窓口即納 □⑨とは別に送付希望（送付先を下記へご記入ください）〈随時〉 □リース・割賦（　回）〒 ビル・マンション　階　号室　様

1 接続する通信機器

| 通信機器の名称 | メーカ名 | 数量 | 機器工事 | 保守区分 | 認定番号 | NTT商品要求部門 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| DSU（　）（お客さま工事の場合 DSU 折り返し機能 □有 □無） | □NTT レンタル □NTT 売切 □他社 | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 | | |
| | □NTT □他社 | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 | | |
| | □NTT □他社 | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 | | |
| | □NTT □他社 | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 | | |

⑬電話帳へお載せするお名前

| | ハローページ（50音） | タウンページ（職業） | 職業分類 |
|---|---|---|---|
| （フリガナ）普通掲載 掲略案内 □有 □無 配列 □有 □無 | | | コード |
| （フリガナ）普通掲載 掲略案内 □有 □無 配列 □有 □無 | | | コード |

2 配線工事等
保安器 屋内配線(WN6) 回線接続装置 DSU TPC-14Dヒモ 接続用コネクタ 機器配線 コネクタ 通信機器 コネクタ 通信機器
□NTT工事(レンタル) □新設 □既設配線利用 □NTT工事(お買上げ) □新設 □既設配線利用 □お客さま工事｜□TA別 □TA内蔵｜□要 □1.5m □3m □5m □不要｜□(1ヶ口用1個) □(2ヶ口用1個) □(コネクタ不要)｜□NTT工事（お買上げ）（　箇所）コネクタ □(1ヶ口用　個) □(2ヶ口用　個) □(コネクタ不要) □お客さま工事 □TA アナログポート 下配線（お買上げ）（　箇所）｜（□同一フロア内終始 □別フロアまたがり）

付加機能欄
ダイヤルイン サービス 追加番号数（　）個 □グローバル着信利用 □グローバル着信利用しない｜追加番号　－　－　－
フレックスホン（通信中着信通知サービス）契約の有無を確認 □4つの機能を全て利用する □一部の機能を利用する｛□コールウェイティング機能 □三者通話機能 □通信中転送機能 □着信転送機能

3 *** 必須項目 ***　4 *** 付加機能等項目 ***
コンサルティング項目
毎月の使用料（無料）
・インタフェース形態及びレイヤ１起動種別 □P-MP呼毎 N6BMN □P-MP常時 N6BMR □P-P N6BPP
・発信者番号通知サービス □呼毎通知許可 N6BDA □呼毎通知拒否 N6BDN □常時通知拒否 N6BDP
・ユーザー間情報通知サービス □着信許可 N6BUS □着信拒否 N6BUN
毎月の使用料（無料）
□代表取扱サービス（親）（※） □代表取扱サービス（子）（※） □通信中機器移動通知サービス（P-MPのみ） □通信中着信通知サービス □〔　〕 □〔　〕
毎月の使用料（有料）
□ダイヤルインサービス（付加機能欄にも記入） □フレックスホン（付加機能欄にも記入） □INSボイスワープ（※） □〔　〕 □〔　〕 □〔　〕
（※）印のサービスをご利用になる場合には、「付加機能受付票」等へもご記入ください
解約されるサービスまたは、復活されるINSネット □加入電話 □利用中 ・電話番号〔　〕 ・AIS □否 □要（パターン・案内番号）〔　〕 ・銀行振込継続 □無 □有（口座振込継続依頼書へも記入） ・同番移行 □無 □有（ケース1 ケース2~4） □利用休止中 ・休止番号等〔　〕 ・休止電話預かり営業所〔　〕 □休止中INSネット復活 ・休止電話預かり営業所コード〔　〕 □その他〔　〕

記事
収容位置　線番
利用用途（主なもの1つ） □パソコン通信利用 □インターネット利用（ダイヤルアップIP接続） □インターネット利用（OCN接続） □インターネットプロバイダ回線 □LAN間接続 □リモートアクセス接続 □音声利用（電話） □テレビ会議（DTC） □POSシステム □G4FAX □その他〔　〕
受付担当 受付部門 □窓口 □通営 □NW営業 □116 □テレマ直営 □テレマ委託 □販売パートナー □法人（支店） □法人（支社） □法人（本社） □その他〔　〕
支店名　受付担当者　TEL（　）　FAX（　）

※コンサルティング項目は、必ずお客さまに説明してください。また各項目の詳細については、裏面の解説もご覧ください。 (97.7)

ISDN の加入手続き



**c．機器工事・保守区分・認定番号**

機器工事は、□お客さま。保守区分は、□実費。認定番号は、本装置底面のラベルを参照し、ご記入ください。

### 2 配線工事等

**a．屋内配線**

NTT の保安器から、お客様のモジュラージャックまでの工事です。

□NTT 工事（レンタル）または□NTT 工事（お買上げ）のいずれかを選択してください。

**b．回線接続装置 DSU**

TD503αの場合（DSU 内蔵）

□TA 内蔵を選択してください。

T503αの場合（DSU 非内蔵）

□TA 別もしくは他に ISDN 機器をご利用であれば、その環境に応じた選択をしてください。

**c．機器配線**

□お客様工事を選択してください。

### 3 コンサルティング項目（必須項目）

**a．インタフェース形態及びレイヤ１起動種別**

□P-MP 常時を選択してください。P-P には、しないでください。

**b．発信者番号通知サービス**

□呼毎通知許可または□呼毎通知拒否のいずれかを選択してください。

（常時拒否を選択すると、発信者番号が通知できなくなります。）

**c．ユーザ間情報通知サービス**

□着信許可を選択してください。

### 4 コンサルティング項目（付加機能等項目）

ご利用になる付加機能を指定してください。

既設の電話回線の電話番号を変更しないようにする「同番移行（無料）」や電話番号を複数利用する「ダイヤルインサービス（有料）」、「フレックスホン（有料）」は、この欄で指定する必要があります。なお、「ダイヤルイン」「フレックスホン」等"INS ネット 64 お申込票"に※がついている項目は［基本機能版］"INS ネット 64 お申込票"であれば同票の付加機能欄に、［高機能版］"INS ネット 64 お申込票"であれば別紙"INS ネットサービス付加機能受付票"に、サービスの詳細をご記入ください。

ワンポイント

**ダイヤルインサービスを利用して、電話番号を２つ使う場合には次のように記入して下さい。**
**追加番号（1）個　■グローバル着信利用**

ISDN の加入手続き

# ４－２．記入例

TD503αを購入し、従来の電話回線をISDNに切り換え、電話番号は従来のままにして、ダイヤルイン契約で、もう１つ電話番号を使用する場合の記入例です。
なお、工事等は配線の形によって相違が生じる場合もあります。

様式D 【基本機能版】「INSネット64」お申込票 (NTT控え)

太枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する個所の□内を塗りつぶしてください。

| | |
|---|---|
| 通信機器の名称 | DSU( TD503α ) |
| メーカ名 | (Sharp) |
| 数量 | 1 |
| 認定番号 | T98-0007-0 / U98-0005-0 |

XXXX-XX-XXXX

コンサルティング項目は、必ずお客さまに説明してください。また各項目の詳細については、裏面の解説もご覧ください。







様式A-1 【高機能版】 **INSネット64お申込票(1/2)** （ＮＴＴ控え）

| 契約者回線番号 | (　　) ― | 利用種別 | □事務用 □住宅用 | 工事予定日 | 平成 年 月 日 □午前・□午後 | 申込票メイン・サブ番号 | ― |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | ページ番号／総枚数 | ／ |

〈太枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する個所の□内を塗りつぶして下さい。〉

| | |
|---|---|
| ①お申込月日 | 平成 年 月 日 |
| ②お申込者 | 様 ☎(　　) ― |
| ③ご利用開始希望日 | 平成 年 月 日 □午前・□午後 |
| ④お申込回線数 | 回線 |
| ⑤ご契約者 (住民票・登記簿上のお名前) | (フリガナ) 様 |
| ⑥ご住所 (住民票・登記簿上のご住所) | 〒 |
| ⑦INSネットをご利用になる場所 ※肩書等詳細にご記入下さい | 〒 ビル・マンション 階 号室<br>●ご利用になる場所の店舗名等<br>●上記の場所で現在ご利用中の電話 □有・□無 (　―　―　) |

⑧配線工事等

| 保安器 (MDF/IDF) | 屋内配線 | 回線接続装置 D S U | 機器配線 |
|---|---|---|---|
| | ■NTT工事(レンタル)<br>□NTT工事(お買上げ)<br>□お客さま工事 | □NTT工事(レンタル)<br>□NTT工事(お買上げ)<br>■お客さま工事 | □NTT工事(お買上げ) コネクタ□(1ケ口用 個) □(2ケ口用 個) □(コネクタ不要)<br>■お客さま工事<br>●コネクタ設置場所 □同一フロアー内に終始する □別フロアーをまたがる<br>※設置場所を指定される場合は略図を添付願います。<br>通信機器 通信機器 |

⑨接続する通信機器

| 通信機器の名称 | メーカ名 | 認定番号 | 数量 | NTT商品要求部門 | 機器工事 | 保守区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| DSU( TD503α ) (DSUお客さま工事の場合のみ 折り返し機能の有無 ■有 □無) | アレクソン | T98-0007-0 / U98-0005-0 | 1 | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 |
| | | | | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 |
| | | | | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 |
| | | | | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 |
| | | | | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 |
| | | | | | □NTT □お客さま | □実費 □定額 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑩お客様のご連絡先 | 事務担当者 様 ☎(　) ― | 技術担当者 様 ☎(　) ― | 工事立会者 様 ☎(　) ― |
| ⑪パケット通信モード利用の有無 | □有 □無 ●ご利用の場合は別紙の「INSネット(パケット通信)お申込書」にご記入願います。 | | |

**ＮＴＴ記入欄**

コンサルティング項目（ご利用形態について）

＊＊＊ 必須項目 ＊＊＊　毎月の使用料（無料）

●インターフェイス形態及びレイヤ1起動識別 □P-MP呼毎 ■P-MP常時 □P-P
●P-MP接続の場合のレイヤ2データリンク数 (9以上の場合に記入(　　))
●発信者番号通知サービス ■呼毎通知許可 □呼毎通知拒否 ■常時通知拒否
●ユーザ間情報通知サービス ■着信許可 □着信拒否

＊＊＊ 付加機能等項目 ＊＊＊

毎月の使用料（無料）
□代表取扱サービス(親)(※)
□代表取扱サービス(子)(※)
■通信中機器移動通知サービス(P-MPのみ)
■通信中着信通知サービス
□料金明細内訳記録(※)
■同番移行
□掲略案内サービス
□(　　)

ダイヤルQ₂サービス発信規制(一部ジャンルの申込制)
□Q申込1 (識別番号3)(※) □パスワード1 (※)
□Q規制2 (識別番号5) パスワード2 (※)
□Q規制3 (識別番号6) □パスワード3 (※)

毎月の使用料（有料）
□ダイヤルインサービス(※)
□フレックスホン(※)
□フリーダイヤルサービス(※)
□グループセキュリティサービス(※)
□INSテレホーダイ(※)
□(　　)

(※)印のサービスをご利用になる場合には、「付加機能受付票」等へもご記入ください。

●他のサービスを解約して INSネットを利用される場合。または、休止中INSネットを復活する場合。 ■有 □無

解約されるサービスまたは、復活されるINSネット：■加入電話 □メンバーズネット □DDX □専用線 (品目　) □その他 □休止中INSネット復活 □既設 □利用休止中

●電話番号及び休止番号等 (　　)
●休止電話預かり営業所 (　　)
●休止電話預かり営業所コード (　　)

● 臨時利用の有無 □有 □無
利用サービス:□INSネット □加入電話 □メンバーズネット □DDX □専用線
利用期間:平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日(　日間)

(96.5)